

千葉市SDGs債(2025年度発行分) 資金充当状況/インパクトレポーティング

2026年7月



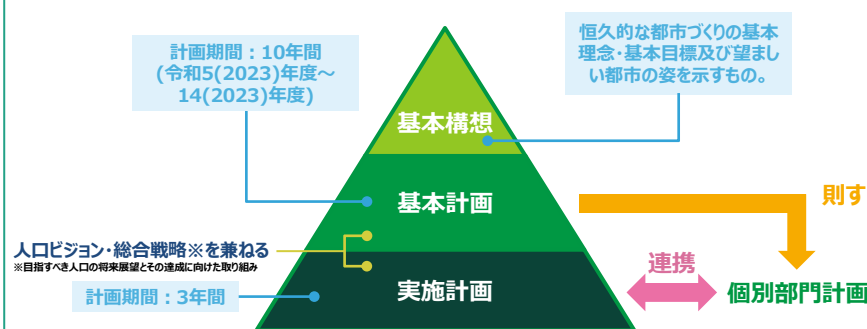
千葉市のSDGs達成に向けた取組み

- 令和5年4月に、**千葉市基本計画**がスタートしました。
- SDGsの「**誰一人取り残さない**」といった視点等を踏まえ、10年間のまちづくりの方向性や分野目標を定めています。

千葉市基本計画の概要

1 計画体系・計画期間

- ・ 市の総合計画は、基本構想、基本計画、実施計画の3層で構成されています。
- ・ 基本計画は、基本構想の実現に向け、**まちづくりの方向性や今後の施策展開を提示するもの**です。
- ・ 市政の特定課題等に対応するために、各部門が定める個別部門計画と連携しています。
- ・ 基本計画の計画期間は、令和5年(2023年)4月1日から令和15年(2033年)3月31日までの10年間です。



2 取組方針

- ・ SDGsの達成など将来を見据えた本市の10年後の姿を「**みんなが輝く 都市と自然が織りなす・千葉市**」と定め、新たな価値が生まれ、一人ひとりが個性を活かし自分らしく活躍できるまちの実現を目指します。
- ・ 分野横断的かつ重点的に取り組むべき戦略的視点を踏まえ、各分野で市民や団体、企業、大学、行政などが連携し、「みんな」でまちづくりを進めていきます。

「4つの戦略的視点」

- 100年先に引き継ぐ 持続可能なまちづくり
- ゆとりを生み・活かす 創造的なまちづくり
- 世界とつながる 多様性を活かした
インクルーシブなまちづくり
- 都市機能の集積を活かした 地域経済・社会の活性化

「まちづくりを進める力」

市民をはじめとした多様な主体の一層の連携と公共私
役割分担の見直しにより、多様な主体がまちづくりに挑戦



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

まちづくりの基本方針に沿って、8つの分野で分野間の連携を図りながらまちづくりを推進します。



- 令和5年6月に、本市におけるSDGs債のルールを定めたフレームワークを策定しました。(令和6年7月更新)
- 第三者評価機関の(株)日本格付研究所より、**最上位評価のSU1(F),Blue1(F)を取得**しています。

千葉市サステナビリティファイナンス・フレームワーク(R6.7公表版)の概要

1 適合性確認対象の原則等

- ・ グリーンボンド原則2021(ICMA)
- ・ ソーシャルボンド原則2023(ICMA)
- ・ サステナビリティボンドガイドライン2021(ICMA)
- ・ グリーンボンドガイドライン2022年版(環境省)
- ・ ソーシャルボンドガイドライン2021年10月(金融庁)
- ・ Guidelines for Blue Finance 2022年1月(IFC)
- ・ A Practitioner's Guide for Bonds to Finance the Sustainable Blue Economy(2023年9月)(SBEガイド)(ICMA/IFC/UNEP FI(国連環境計画・金融イニシアティブ)/UN Global Compact(国連グローバルコンパクト)/ADB(アジア開発銀行))

3 資金管理

- ・ 調達資金は原則、当該年度中に適格プロジェクトに充当されます。
- ・ 調達額が適格プロジェクトに係る資金充当の合計額を超過しないよう適切に管理します。
- ・ 未充当資金が発生した場合には、充当されるまでの間、現金または安全性の高い金融資産で運用します。

2 プロジェクトの評価及び選定プロセス

- ・ 財政局財政部資金課が各部局にヒアリングを実施し、環境面及び社会面において便益が見込まれるプロジェクトを抽出し、当該プロジェクトによるリスクを特定した上で、その対処法についても確認して選定します。

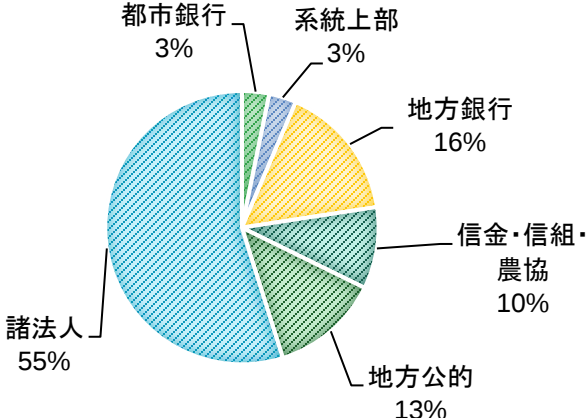
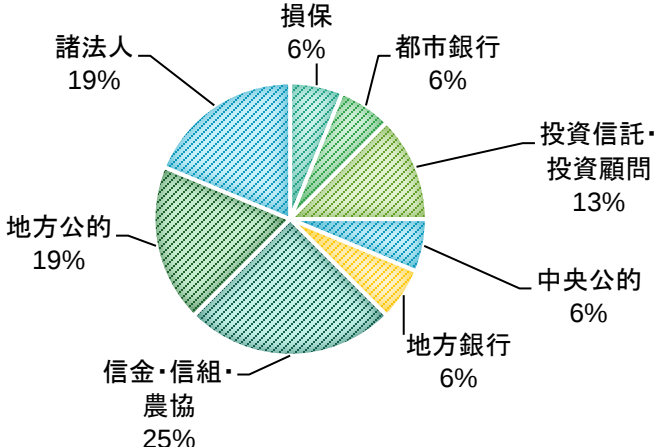
4 レポーティング

- ・ 充当金額等を記載した資金充当状況レポーティング、プロジェクトの実施による成果等を記載したインパクトレポーティングについては、発行の翌年度に開示します。
- ・ 当初の想定から大きな状況の変化が生じた場合には、速やかに開示します。

千葉市令和7年度第4回・第5回公募公債(グリーンボンド) 発行概要

- 令和7年8月に、本市としては2回目となるグリーンボンドを発行しました。
- 発行総額150億円に対し、**246.5億円(約1.6倍)**の需要が寄せられ、延べ**56件**の投資家様に購入いただきました。

発行概要

名称	千葉市令和7年度第4回公募公債(グリーンボンド)	千葉市令和7年度第5回公募公債(グリーンボンド)
年限	5年(満期一括償還)	10年(満期一括償還)
発行額	100億円	50億円
応募額	126.3億円	120.2億円
利率	1.158%	1.630%
条件決定日	令和7年8月8日(金)	
発行日	令和7年8月29日(金)	
引受会社	三菱UFJモルガン・スタンレー証券(事務)、大和証券、野村證券	
購入対象	機関投資家向け	
投資表明 投資家の内訳 (件数ベース)	 都市銀行 3% 系統上部 3% 地方銀行 16% 信金・信組・農協 10% 地方公的 13% 諸法人 55%	 損保 6% 都市銀行 6% 投資信託・投資顧問 13% 中央公的 6% 地方銀行 6% 信金・信組・農協 25% 地方公的 19% 諸法人 19%

※小数点以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります

千葉市令和7年度第4回・第5回公募公債(グリーンボンド) 投資表明投資家

- 令和7年8月に、本市としては2回目となるグリーンボンドを発行しました。
- 発行総額150億円に対し、**246.5億円(約1.6倍)**の需要が寄せられ、延べ**56件**の投資家様に購入いただきました。

投資表明投資家一覧(敬称略・50音順)

	投資家名	5年債	10年債
1	学校法人 秋葉学園	○	
2	医療法人社団 あずま腎クリニック	○	
3	茨城県信用組合	○	
4	印西市	○	
5	江戸川区	○	
6	オリックス銀行株式会社	○	○
7	社会福祉法人穂寿会	○	
8	かとり農業協同組合		○
9	鹿屋市	○	
10	社会福祉法人君津市社会福祉協議会		○
11	株式会社京葉銀行	○	
12	三洋コンクリート工業株式会社	○	
13	株式会社 シー・エス・ランバー	○	
14	静岡県	○	○
15	静岡県富士市		○
16	公益財団法人 自動車リサイクル促進センター		○
17	社会福祉法人末広会	○	
18	公益財団法人 全国市町村研修財団	○	
19	医療法人千水会 赤穂仁泉病院	○	
20	太陽生命保険株式会社		○
21	株式会社筑邦銀行	○	
22	株式会社千葉銀行	○	○
23	千葉県信用保証協会		○

	投資家名	5年債	10年債
24	千葉テレビ放送株式会社		○
25	ちばみどり農業協同組合		○
26	株式会社千葉薬品	○	
27	一般財団法人 東葛教育会館維持財団	○	
28	社会福祉法人童心会	○	
29	株式会社徳島大正銀行	○	
30	一般財団法人 成田国際空港振興協会	○	
31	成田市農業協同組合	○	
32	西春日井農業協同組合		○
33	株式会社 日警保安	○	
34	日本コープ共済生活協同組合連合会	○	
35	日本地震再保険株式会社	○	
36	株式会社日本貿易保険		○
37	株式会社北洋銀行	○	
38	北海道信用金庫		○
39	美樹観光株式会社	○	
40	三菱UFJアセットマネジメント株式会社		○
41	宮崎第一信用金庫	○	
42	株式会社宮崎太陽銀行	○	
43	明治安田アセットマネジメント株式会社		○
44	社会福祉法人茂原市社会福祉協議会	○	
45	労働金庫連合会	○	

※5年債・10年債でご購入いただいたものに○を記載

千葉市令和7年度第4回・第5回公募公債(グリーンボンド) 資金充当状況/インパクトレポーティング概要

プロジェクト分類	対象事業	貢献するSDGs	充当額(百万円)		環境改善効果等
			新規分	借換分	
(グリーン適格プロジェクト) 汚染の防止と管理	新清掃工場整備事業	 	13,416	0	- 整備内容 新清掃工場(北谷津清掃工場)の建設 - 運用開始予定時期 令和8年度 - エネルギー回収率 24.4% - 運用開始により見込まれる発電量 95,000MWh/年
(グリーン適格プロジェクト) 汚染の防止と管理	下田最終処分場浸出水処理施設建替事業	 	1,398	0	- 整備内容 下田最終処分場浸出水処理施設の建替 - 浸出水処理能力(計画値) 800m³/日
(グリーン適格プロジェクト) グリーン輸送	公用車への電動車の導入		34	0	- 電気自動車(EV)の導入台数 18台 - CO₂排出削減量 10.99t-CO₂/年
(グリーン適格プロジェクト) グリーン輸送	公用車充電設備の設置		14	0	- 導入数 33台 - 整備箇所数 5箇所(市役所本庁舎等)
(グリーン適格プロジェクト) エネルギー効率	高効率機器(LED)の導入	 	57	0	- 整備内容 照明のLED化 - 整備箇所数 4箇所(中央区役所等) - エネルギー削減量 168,885kWh/年 - CO₂排出削減量 71t-CO₂/年
(グリーン適格プロジェクト) 気候変動への適応	急傾斜地崩壊対策	 	81	0	- 整備内容 急傾斜地崩壊防止施設の改修 - 整備箇所数 2箇所 - 整備面積 100.5m - 想定される被害とその被害を避けることができる家屋数 24戸
合計			15,000	0	グリーン適格プロジェクト 15,000百万円(100%) 未充当額 0百万円

千葉市令和7年度第4回・第5回公募公債(グリーンボンド) 資金使途事業(1/3)

新清掃工場整備事業



- 千葉市ではこれまで3つの清掃工場で市内のごみ処理を行ってきましたが、そのうち北谷津清掃工場が、運用開始後 38 年目を迎え老朽化が進行していることから、「一般廃棄物(ごみ)処理基本計画」に基づき、平成 28 年度末で廃止とし、運用する清掃工場を 2 清掃工場(新港清掃工場、北清掃工場)体制とすることで、効率的なごみ処理を行うとともに、北谷津清掃工場跡地を活用した施設整備を行うこととしました。
 - 日々発生する一般廃棄物を衛生的かつ効率的に処理できるよう必要な施設体系を整え、長期間安定的に運用でき、循環型・脱炭素社会に寄与する、維持管理や収集運搬も考慮した、経済性の高い施設の整備を目指します。
 - 令和4年11月から、北谷津清掃工場跡地を活用した新清掃工場建設工事を開始し、令和8年4月1日に新たに稼働しました。
- ✓ エネルギー回収率…24.4%
 - ✓ 運用開始により見込まれる発電量
…95,000MWh/年

発電による効果

95,000MWh/年の発電量は、
一般家庭 約24,000世帯分の
年間消費電力に相当(※)

▼新清掃工場



下田最終処分場浸出水処理施設建替事業



- 下田最終処分場は、千葉市内で発生する一般廃棄物の最終処分場であり、平成9年3月に廃棄物の埋め立てを終了しています。
- しかし、処分場内から発生する浸出水の水質は、今後も長期にわたり処理が必要です。
- 下田最終処分場の浸出水処理施設は、稼働から47年が経過しており、老朽化した施設の建替えを行う必要があります。
- 令和5年3月から設計及び建設を開始しており、令和7年度には、外構工事や試運転調整を除き、概ね施設が完成しました。

- ✓ 運用開始時期…令和8年5月
- ✓ 浸出水処理能力 800m³/日

▼浸出水処理施設



※一般家庭1世帯における年間消費電力を3,950kWhと仮定(出典：環境省「令和4年度家庭部門のCO₂排出実態統計調査 資料編(確報値)」図1-72～1-75(p.41～42))

千葉市令和7年度第4回・第5回公募公債(グリーンボンド) 資金使途事業(2/3)

公用車への電動車の導入



- 「千葉市地球温暖化対策実行計画」において、市役所の率先行動の一つとして、公用車から排出される温室効果ガスを可能な限り削減するため、公用車への電動車導入を積極的に進めることとしており、この計画と関連する形で、脱炭素化の取り組みとして、電動車の導入を計画的に進めていくため、令和5年3月に「千葉市公用車への電動車導入方針」を策定しました。
 - この方針において、千葉市では、代替できる電動車がない場合を除いて、新規導入及び更新する公用車は、令和5年度以降全て電動車とし、使用する公用車全体でも令和12(2030)年度までに全て電動車とすることを目標に掲げています。
 - 令和7年度は、市役所の公用車として電動車を導入しました。
- ✓ 電気自動車(EV)の導入台数 18台
✓ CO₂排出削減量 10.99t-CO₂/年

▼導入車両



公用車充電設備の設置



- 令和5年3月に策定した「千葉市公用車への電動車導入方針」において、千葉市では、代替できる電動車がない場合を除いて、新規導入及び更新する公用車は、令和5年度以降全て電動車とし、使用する公用車全体でも令和12(2030)年度までに全て電動車とすることを目標に掲げています。
 - これを達成するために順次電動車を導入していますが、あわせて、令和7年度は、市役所本庁舎等において、公用車充電設備を導入しました。
- ✓ 導入数 33台
✓ 整備箇所数 5箇所

▼導入設備



千葉市令和7年度第4回・第5回公募公債(グリーンボンド) 資金使途事業(3/3)

高効率機器(LED)の導入



- 令和6年2月に経済産業省から一般照明用の蛍光灯が令和9年までに段階的に廃止されることが決定したことに伴い、今後、蛍光灯製品の入手ができなくなります。
 - これを契機に、省エネ・長寿命かつ環境にやさしいLED照明へと入れ替えることで、施設維持管理費の削減につなげることができ、また、蛍光灯製品の生産中止に伴い蛍光灯の入手価格及び廃棄費用が年々高騰していることから、早期入れ替えによるコスト削減につながり、保守品として蛍光灯を保有する必要がなくなることによるデッドストック品の発生リスク軽減にもつなげることができます。
 - 令和7年度は、中央区役所等においてLED照明を導入しました。
- ✓ 整備箇所数 4箇所
✓ エネルギー削減量 168,885kWh/年
✓ CO₂排出削減量 71t-CO₂/年

▼中央区役所等の照明
(整備前)



▼中央区役所等の照明
(整備後)



急傾斜地崩対策事業



- 千葉市には、急傾斜地崩壊防止施設が全18施設(中央区1施設、稲毛区5施設、花見川区3施設、若葉区7施設、緑区2施設)あり、老朽化が進行していることから、施設の健全度を適切に保つため、財政状況を勘案した戦略的な維持管理を行っていく必要があります。
- そのため、千葉市では令和3年3月に、急傾斜地崩壊防止施設が所定の機能を常に発揮すべく、適切なタイミングでの補修及び更新を実施するために必要な管理目標及び対策の優先順位を設定した「千葉市急傾斜地崩壊防止施設維持管理計画(長寿命化計画)」を策定し、維持管理を行っています。(計画期間2070年まで)
- 急傾斜地崩壊防止施設に対する主な対策内容は、土砂流出や湧水等に対する「斜面安定対策」、ひび割れ・はく落等に対する「外力対策」、腐食や変形等に対する「設備対策」の3つに分類され、計画に基づく定期点検により把握した施設や部材毎に生じた変状に対して、対策の効果、施工性、安全性、経済性を検討し、対策を実施していきます。
- 令和7年度は、急傾斜崩壊防止施設の改修工事を実施しました。

▼稲毛東2丁目
(施工前)



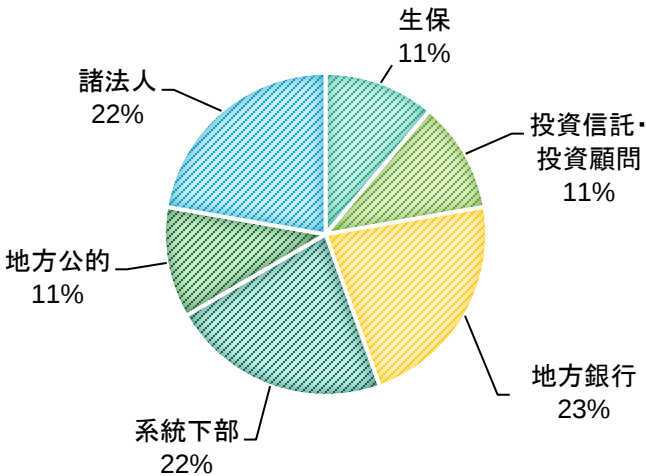
▼稲毛東2丁目
(施工後)



千葉市令和7年度第8回公募公債(ブルーボンド) 発行概要/投資表明投資家

- 令和7年11月に本市では3回目となる調達資金の全額がブルー適格プロジェクトに充当されるブルーボンドを発行しました。
- 発行額30億円に対し**43.9億円(約1.5倍)**の需要が寄せられ、**13件**の投資家様に購入いただきました。

発行概要

名称	千葉市令和7年度第8回公募公債(ブルーボンド)														
年限	10年(満期一括償還)														
発行額	30億円														
応募額	43.9億円														
利率	1.800%														
条件決定日	令和7年11月12日(水)														
発行日	令和7年11月28日(金)														
引受会社	三菱UFJモルガン・スタンレー証券(事務)、大和証券、野村證券														
購入対象	機関投資家向け														
投資表明 投資家の内訳 (件数ベース)	 <table><thead><tr><th>投資家内訳 (件数ベース)</th><th>割合</th></tr></thead><tbody><tr><td>地方銀行</td><td>23%</td></tr><tr><td>諸法人</td><td>22%</td></tr><tr><td>系統下部</td><td>22%</td></tr><tr><td>投資信託・投資顧問</td><td>11%</td></tr><tr><td>生保</td><td>11%</td></tr><tr><td>地方公的</td><td>11%</td></tr></tbody></table>	投資家内訳 (件数ベース)	割合	地方銀行	23%	諸法人	22%	系統下部	22%	投資信託・投資顧問	11%	生保	11%	地方公的	11%
投資家内訳 (件数ベース)	割合														
地方銀行	23%														
諸法人	22%														
系統下部	22%														
投資信託・投資顧問	11%														
生保	11%														
地方公的	11%														

投資表明投資家一覧(敬称略・50音順)

1	社会福祉法人飯田市福祉協議会
2	尾張中央農業協同組合
3	住友生命保険相互会社
4	株式会社千葉銀行
5	千葉県信用保証協会
6	株式会社千葉興業銀行
7	社会福祉法人栃木市社会福祉協議会
8	北海道信用金庫
9	三菱UFJアセットマネジメント株式会社

※小数点以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります

千葉市令和7年度第8回公募公債(ブルーボンド) 資金充当状況/インパクトレポーティング概要

プロジェクト分類	対象事業	貢献する SDGs	充当額(百万円)		整備内容、整備箇所数
			新規分	借換分	
(ブルー適格プロジェクト) 汚染の防止と管理 水衛生	管渠改築事業	 	2,178	0	穴川地区下水道施設改良工事 三角地区下水道施設改良工事 みつわ台地区下水道施設改良工事 園生地区下水道施設改良工事 他25件 工事総延長L=5.1km
(ブルー適格プロジェクト) 汚染の防止と管理 水衛生	ポンプ場改築事業	 	252	0	若葉ポンプ場自家発電設備改築工事 印旛処理区ポンプ場外監視制御設備改築工事 高洲第一ポンプ場受変電設備改築工事 他4件
(ブルー適格プロジェクト) 汚染の防止と管理 水衛生	浄化センター整備事業	 	570	0	中央浄化センター水処理機械設備改築工事 南部浄化センター脱水機機械設備改築工事 中央浄化センター水処理電気設備改築工事 南部浄化センターA系最初沈殿池設備改築工事 他4件
合計			3,000	0	ブルー適格プロジェクト 3,000百万円(100%) 未充当額 0百万円

千葉市令和7年度第8回公募公債(ブルーボンド) 資金使途事業

管渠改築事業



- 下水道は、生活排水等の汚水処理による衛生的な生活環境の実現や、海や河川等の公共用水域の水質保全など、私たちの安全・安心で快適な生活に欠かせない重要なライフラインとなっています。
- 千葉市では、令和7年1月時点において約3,810kmの管路施設を管理していますが、老朽化している管渠が存在しており、「千葉市下水道ストックマネジメント計画(第2期)」に基づき、計画的な改築を行っています。また、「千葉市下水道総合地震対策計画」に基づき、下水道管路の耐震化も併せて進めています。
- 令和7年度においては、穴川地区下水道施設改良工事、三角地区下水道施設改良工事、みつわ台地区下水道施設改良工事、園生地区下水道施設改良工事、他25件の事業を資金使途としました。

▼穴川地区下水道施設改良工事



ポンプ場改築事業



- ポンプ場は、管渠で自然流下できない部分を補うため、ポンプで揚水する機能を有しています。
- 千葉市では、現在148か所のポンプ場が稼働しています。ポンプ場をはじめとする機械電気設備の耐用年数は管渠等の他の下水道インフラと比較して短いことから、「千葉市下水道ストックマネジメント計画(第2期)」に基づき、計画的な維持・修繕及び改築を実施することにより、ポンプ場の適正な機能維持に努めています。
- 令和7年度においては、若葉ポンプ場自家発電設備改築工事、印旛処理区ポンプ場外監視制御設備改築工事、高洲第一ポンプ場受変電設備改築工事、他4件の事業を資金使途としました。

▼若葉ポンプ場自家発電設備改築工事



浄化センター整備事業



- 浄化センター(処理場)は、管渠施設により集められた下水をきれいな水にするための施設です。
- 千葉市には、中央処理区を受け持つ中央浄化センター、南部処理区を受け持つ南部浄化センター、印旛処理区を受け持つ花見川終末処理場及び花見川第二終末処理場があり、管渠やポンプ場を経由して流入した下水を水質汚濁防止法で定める基準をクリアした状態に処理した上で、東京湾に放流しています。
- 令和7年度においては、中央浄化センター水処理機械設備改築工事、南部浄化センター脱水機機械設備改築工事、中央浄化センター水処理電気設備改築工事、南部浄化センターA系最初沈殿池設備改築工事、他4件の事業を資金使途としました。

▼中央浄化センター水処理機械設備改築工事





本資料に関するお問い合わせ先

千葉市財政局財政部資金課

〒260-8722 千葉市中央区千葉港1番1号

TEL : 043-245-5078

FAX : 043-245-5535

E-MAIL : shikin.FIF@city.chiba.lg.jp
